



博多区役所 〒812-8512 博多区博多駅前二丁目9-3 区ホームページ 博多区 検索

区役所代表電話 ☎ 441-2131



区の人口 242,965 人 (前月比 253 人増) (男 115,851 人 女 127,114 人) 世帯数 152,513 世帯 (前月比 162 世帯増) (令和元年 7月1日現在推計)

調 = 日時、開催日、期間 所 = 場所 問 = 問い合わせ ☎ = 電話 F = ファクス 対 = 対象 定 = 定員 料 = 料金、費用 託 = 託児 申 = 申し込み 持 = 持参 電 = メール HP = ホームページ

お知らせ

8月14日(水)の法律相談は休みます

市民相談室では、毎週水曜日に弁護士による法律相談を行っています。8月14日(水)は休みとなります。

問区総務課 ☎419-1011 F452-6735

お盆の期間のごみ収集

- 燃えるごみなど 休まず平常通り収集。
お盆の供え物 8月15日(木)午後10時から順次収集します = 下表。持ち出し時間は地域で異なるので、お問い合わせください。
問区自転車対策・生活環境課 ☎419-1068 F441-5603

Table with 2 columns: 校区等 (District) and 場所 (Location). Lists collection points for various districts like 御供所, 大浜, 奈良屋, etc.

参加募集 ※応募事項は 15 面の申し込み方法参照

手づくりきょうしつスペシャル

夏休みの自由研究にも役立つマリオネット(操り人形)を作ります。
8月17日(土)午後2時半~3時半 所博多市民センター(山王一丁目) 問博多図書館 ☎472-5996 F472-5999 対3歳~小学生(未就学児は保護者同伴可) 定先着20人 料無料 申8月1日(木)午前10時半以降に電話かファクス、または直接同図書館へ。



市民に限らず観光客も案内します



山笠本番に向けて観覧席が組まれた榊神社境内で説明

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

「市内に住んでいるのに、博多の習わしや山笠の用語がこんなにあるとは知りませんでした。伝統文化が脈々と継承されている証です」と感じしていました。

博多の魅力を発信しています

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

「博多の魅力を発信しています」

平成24年に発足した「博多ガイドの会」は、歴史や伝統が息づく博多のまちを専門に案内するボランティア観光ガイドです。まちの魅力をより分かりやすく紹介するために、博多の歴史や文化、おもてなしの心得などについて学んでいます。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

現在、31人が紫の法被や帽子などを着用して活動し、年間およそ1万人を案内しています。

博多の魅力でおもてなし 博多ガイドの会

山笠をテーマにした特別コースでまち歩き 同会は、季節に合わせたまち歩きの特別コースを年20回ほど実施しています。7月4日、多くの人が観覧している博多駅前広場の飾り山笠の前で、同会の福本正司さんが説明していました。この日の企画は、毎年人気の「山大王が語る山笠制作の秘話と飾り山笠めぐり」。山笠を制作した山大王から、榊神社やその周辺の飾り山笠を巡りながらガイドが説明しました。参加者はうなずきながら、「市内に住んでいるのに、博多の習わしや山笠の用語がこんなにあるとは知りませんでした。伝統文化が脈々と継承されている証です」と感じしていました。

ガイドと行く博多まち歩き

- まち歩きを楽しみながら、博多の歴史・文化を約2時間で紹介します。ご要望に応じますのでご相談ください。
ガイド1人につき2,000円(参加人数10人に対しガイド1人が目安) 希望日の7日前までに同会事務局へ。
①文化発祥コース 博多千年門→承天寺→妙楽寺→円覚寺
②博多昔話コース 東長寺→龍宮寺→萬行寺
③祭・伝統工芸コース 榊神社→「博多町家」ふるさと館→博多鉄(ばさみ)高柳商店→はかた伝統工芸館
④寺社巡りコース 榊神社→東長寺→承天寺→博多千年門

思春期子育てカフェ

思春期の子育てについて、疑問や悩みを語り合いませんか。福岡少年サポートセンターの相談員がアドバイザーとして参加します。
8月22日(木)午後6時半~8時半 所東吉塚会館(吉塚本町) 問区生涯学習推進課 ☎419-1024 F419-1029 対小中高生の保護者 定先着30人 料100円(茶菓子代) 申電話かファクス、はがき(〒812-8512住所不要)、メール(gakushu.HAWO@city.fukuoka.lg.jp)に応募事項を書いて前日までに同課へ。

運動から始める認知症予防教室

認知症予防に効果のある運動を行います。食事の取り方などについても学び、教室終了後も継続して活動していくことを目指します。
9月5日、19日、10月3日、17日、31日 午前10時~正午(いずれも木曜日・全5回) 所特別養護老人ホーム 薔薇の樹苑(元町二丁目) 問区地域保健福祉課 ☎419-1100 F441-0057 対区内在住の運動が可能な65歳以上で、介護サービスを利用していない人。 定先着20人 申電話かファクスに応募事項を書いて8月1日(木)午前9時半以降に同課へ。

博多区人権を考えるつどい

「笑顔で語ろう人権問題」をテーマに、内浜落語会の粗忽家(そこつや)一門による落語や大喜利を通して、人権問題について考えます。
8月29日(木)午後1時半~3時 所博多市民センター(山王一丁目) 問区生涯学習推進課 ☎419-1025 F419-1029 定500人 申不要



シルバードライビングスクール

運転実技チェックや、安全運転サポート車(サポカー)の乗車体験などを行います。
※免許更新時の高齢者講習ではありません。
9月23日(月・祝) 午後2時~4時半 所アイルモータースクール博多の森(糟屋郡志免町王子一丁目28-16) 問区総務課 ☎419-1044 F452-6735 対区内に住む60歳以上の運転免許証所持者 定先着40人 料無料 申電話かはがき(〒812-8512住所不要)、ファクスに応募事項と生年月日、車種(マニュアルかオートマチック)を書いて9月10日(必着)までに同課へ。